

《東保育所拠点事業地域子育て支援センター》

I. 事業総括

＜支援方針＞

- ・親子の絆を深めるため、子育て親子の交流の場として在宅親子が安心できる居場所となるよう努めました。
- ・子育ての不安や悩みに寄り添い、場合によっては関連機関と連携を図り援助に努めました。
- ・子育てサークルや子育て支援団体と連携を図り交流活動の支援に努めました。
- ・地域の子育て支援関連情報を提供し、様々な保護者の輪が広がる支援を目指しました。

II. 事業目標に対する評価

地域の子どもの健やかな育ちを実現することができるよう、子育て家庭が抱える育児不安や孤独感を軽減し、子育ての楽しさや成長の喜びを感じることができるよう支援に努めました。

III. 計画事業の総括

1. サービス事業への取組み

コロナ禍の為、予約制での開所となりましたが、支援センターをご利用される方が、心のよりどころとして安心感を持って子育てできるよう支援に努めました。昨年度、好評であった救急法講習会は、感染症拡大のため、実施することができませんでした。

2. 人財育成への取組み

事業所間や園内研修は毎月計画的に取り行い、職員講師による乳幼児の発達や救急法、ケース会議など知識の共有や共通理解を図りました。また子育て支援にも繋がる学びの場となりました。

3. 地域との関係強化への取組み

子育て相談は、相談内容によっては関係機関(保育所や保健課、福祉課)に繋げ連携を図りました。地域に出向き、親子交流活動や子育てサークルの援助を行いました。

4. 施設整備への取組み

携帯電話をスマートフォンへ更新し利便性を図りました。また、赤ちゃんが安全に遊ぶために室内用仕切り柵を購入し安全対策に努めました。

令和4年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

1. 利用者状況

利用者	計画数	実績	差異
在宅親子	28組	28組	0組

2. 実施サービス

(1) サービス事業

<子育て親子の交流の促進>

実施事業の成果、評価	KPI
<p>○在宅親子の交流の場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立防止を図るために子育て支援室『すくすく』を開所し、在宅の親子がゆったりと過ごせる環境を整えました。 ・保護者同士の交流を通して、子育て親子の相互支援又は保護者の自主的活動を支え、孤独感の緩和を図るよう努めました。 ・コロナ禍で予約制や時間制限の期間もありましたが、保護者にとっては外に出かけにくいということもあり、支援センターを母親の心のよりどころとして利用いただきました。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・各保育所に開放日を設けました（月1回9：30～11：00） いわみ西保育所・・・親子サロン 東 保育所・・・わくわくデー 日貫保育所・・・ピョピョデー ・感染防止対策を講じ、各保育所とは開放内容を話し合い、行事にも参加できるよう連携をとって実施しました。 ・開放日は、同年齢の子どもの発達を知ることができ、入所前に保育所の様子や行事を知ってもらえる機会とあって、初めての方も参加され支援室へつながりました。 ・コロナ禍で各保育所、親子サロン（2回）、わくわくデー（2回）、ピョピョデー（3回）ずつ、年間7回の開放となりました。 	

<子育てに関する相談・援助>

実施事業の成果、評価	KPI
<p>○来所や電話による子育て等に関する相談・援助を行いました。(8:30~17:00) 子育て相談件数 60件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や離乳食、断乳や保育所の入所(申請の仕方、保育所での生活リズム)についての相談があり、特に育児や発達に関連した相談内容が多く、相談内容によっては、他の関係機関(保健課栄養士・調理師・保育所長)と情報を共有し合い、より支援が的確なものであるよう努めたことは、保護者の安心感へとつながりました。 ・コロナ感染が拡大した為、8月、11月の健診は控えましたが、その他の月は担当保育士が町の乳児検診に参加することが出来ました。町内全体の親子と触れ合いを持ちながら悩みを聞いたり、生活習慣や子どもとのかかわり方等の助言や援助を行いました。健診では新規の方にも来所のお誘いができたことや、相談もあったため、在宅親子との信頼関係へと繋げていくことができました。 ・健診で新たな在宅親子と顔見知りになることで、支援センターへの来所や電話相談に繋がられるよう努めました。 	

<地域へ子育て関連情報の提供>

実施事業の成果、評価	KPI
<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌『すくすく』『月の行事』を在宅親子に毎月発行しました(地域の民生委員さんや公民館などにも送付)。 ・地域の公共の場や病院、保健センターなどにも掲示させてもらいました。 ・広報紙『さくらだより』に情報提供を行いました。 ・ホームページにて支援センターの案内や活動の情報提供を行おうと試みましたが、コロナ禍のためインスタやホームページに発信するイベントが出来ず、ホームページによる情報発信を実施することが困難でした。 ・子育てに関する講演会やイベントの案内を配布しました。 ・赤ちゃんが誕生したり、石見地区に転居された方に『子育て支援センター』の案内を送付し来所に繋げました。 ・より多くの在宅親子に利用して貰えるよう情報発信を行いました。 ・在宅親子の孤立感の緩和を図る為、地域へ支援センターについての情報発信を行うことで、在宅親子に対し周囲からの働き掛けや情報提供を行っていただきました。 ・保健課や福祉課の協力を得て情報を早期に収集し、漏れのないように案内を送付しました。 	

<子育て及び、子育て支援に関する講座の実施>

実施事業の成果、評価	KPI
<ul style="list-style-type: none"> ・アートデー（6回）・わらべうた遊び・絵本の紹介・ママの心こころころ（6回）を開催しました。 ・3B体操、リズム遊びを年に4回実施しました。 ・出前講座はベビーマッサージと離乳食の指導相談を保健師や栄養士により実施しました。 ・イベントは希望者が多く、予約制となりますが参加者が偏らないよう配慮し、孤立防止となるよう働きかけました。 ・在宅親子同士の交流を通してして相互支援となるよう働きかけました。 ・専門職と連携し、保護者が子どもの発達状況を知り、我が子への興味や関心を高め養育力や知識の向上を図り不安感の軽減に繋げるよう努めました。 	

3. 人員体制の状況（常勤換算）

（単位：人）

役職名	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
センター長（東保育所長が兼務）						
嘱託保育士		1(1.0)		1(1.0)		(0)
保育士		2(1.1)		3(2.1)		+1(+1)
計		3(2.1)		4(3.1)		+1(+1)

契約職員1名雇用し、より丁寧な支援を提供し運営することが出来ました。

【人財育成事業】

（1）事業所内研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
救急法講習会	全職員	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・救急法研修は、2回に分けられていた為、パート職員も全員が受け、身近な救急法を学ぶことができました。 ・新型コロナウイルス感染防止の為中止となりました。
防犯訓練	全職員		

(2) 事業所間研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
人権権利擁護研修	2名	2名	・常勤が受講し、パート職員にも周知しました。
食の推進研修	1名	1名	・食生活の改善について、学ぶことが出来ました。

【地域との関係強化への取組み】

実施した事業	事業内容・成果等	KPI	KPI 実績
地域の子育て関連事業への参加	・地域に出向き、親子交流活動や子育てサークルこぐまクラブの援助を行い、連携を強化しました。 ・コロナ禍の感染対策の為、瑞穂子育て支援センターとの交流は中止となりましたが、第3四半期において、瑞穂子育てセンターと情報交換をすることができました。		

【生産性向上計画】

東保育所と同じです。

【施設整備事業】

実施した施設整備等	実施した内容等
・携帯電話の更新 ・室内用仕切り柵の購入	・携帯電話をスマートフォンへ更新し利便性を図りました。 ・赤ちゃんが安全に遊ぶために室内用仕切り柵を購入し安全対策に努めました。

【感染症・災害への対応への取組み】

東保育所と同じです。

以 上